文化委員会

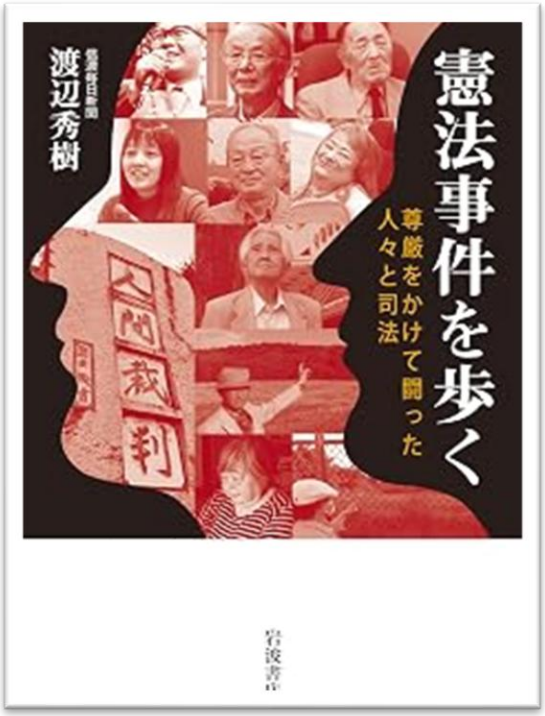
作品紹介ニュース

2026年11月号

〈提示証についてのお知らせ〉

・今後については、**組合員証をご提示**ください。ご用意できない方は配達明細表、個人別払込明細表など、生活クラブの組合員と証明できるものをシアターキノ受付で見せてください。期限なしで組合員特別料金にて作品をみることができます。

組合員特別料金 1400 円



文化委員会がおすすめする書籍・映画などをほぼ隔月でお知らせしています。

今回の作品は「憲法事件を歩く～尊厳をかけて戦った人々と司法より～」です。

著者：渡辺 秀樹
刊行日：2025 年４月４日
出版社：岩波書店
価格：　２７５０円（税込）
注～ニュース掲載当時の価格です。
変更している可能性がありますので、事前にご確認よろしくお願いします。

久しぶりに夢中で読んだ。著者の信濃毎日新聞記者の渡辺秀樹氏は４年をかけて全国を歩き、３２の憲法事件に関わった人々を取材し記録した。人々が憲法に保障された人権や尊厳を護るためにどのようにして国と闘ってきたのか、そして裁判所はどのような判決を下したのかを知るのはとても興味深い。

敗戦後、私たちは世界に誇れる平和・民主主義の日本国憲法を得た。憲法は国が護るものだが、そのためには私たちの不断の努力が問われる。権力者は憲法を勝手に解釈したり無視したりしがちだからだ。だから民主主義を護るには時には闘わなければならない。しかし行政相手に裁判を起こすのは簡単なことではない。本にあるように、多くの弁護士や支援者の助けが必要だし、何年もの時間がかかる。勝訴するとは限らない。それでも裁判で闘うのは、こんなことがあったと世間に知らしめ、将来の国の在り方に役に立つはずだという強い信念からにちがいない。私は彼らから勇気をもらった。私たちもおかしいことがあれば「おかしい！」と声を上げようではないか。

（文化委員／S.K）